

■一般目標 (GIO)

歯科医療の概要、歯科医療における歯科技工士の位置づけを理解するために、医療技術者としての心構えを学ぶ。

■到達目標 (SBOs)

- ・歯科技工作業における姿勢と器具、機器材料の扱い方を理解できる。
- ・チーム医療でのコミュニケーション力の必要性を認識できる。
- ・QOL と ADL との関連性を説明できる。
- ・顔の形態と機能を概説できる。
- ・補綴装置による個人識別の意義を解釈できる。
- ・災害時の歯科技工士の役割を説明できる。

■教科書：(教1) 最新歯科技工士教本 歯科技工管理学 (医歯薬出版)
(教2) 最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)

■参考資料：プリント配付

■授業時間：月曜日 18:00～19:35

■オフィスアワー：木内 香 (kiuchi.kaori@nihon-u.ac.jp) 月曜日・17:00～17:45

■成績評価：定期試験(80%)と平常試験(20%)で評価する。

■注意事項：ノート、教科書を持参すること。

■授業方法：スライドおよび配布プリントを用いて講義を行う。授業時間内に平常試験を3回行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を行うので復習をすること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：木内香；歯科技工士として臨床経験を積む。その経験を基に、歯科臨床に必要な基礎的事項を教えていく。

高津匡樹：現在、日本大学歯学部歯科補綴学講座に在籍しており、日々の臨床経験をもとに歯科医療における歯科技工士の役割について講義を行う。

川戸貴行、田中秀樹：現在、日本大学歯学部衛生学講座に在籍しており、衛生学の立場から歯科技工士に関わる衛生管理や健康政策について講義を行う。

■アクティブラーニング：グループワーク、ディスカッション

■関連教科：「基礎分野、専門基礎分野、専門分野のすべての教科」

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月10日 木内 香	1. 歯科技工を始めるにあたって (教2)pp. 2-11	・歯科技工作業における基本姿勢と技工機の使い方を理解できる。 ・口腔内へ補綴装置が装着されるまでの流れを理解できる。
第2回4月10日 木内 香	2. 機器材料の扱い方 1) 手用器具の持ち方、扱い方 (教2)pp. 12-19	・歯科医師、歯科衛生士への対応が理解できる。 ・手用器具の種類と持ち方・扱い方を理解できる。
第3回4月17日 木内 香	2. 機器材料の扱い方 2) マイクロモーターの持ち方、扱い方 3) 切削、研削、研磨器材他の扱い方 (教2)pp. 19-24	・マイクロモーターの扱い方を理解できる。 ・切削・研削・研磨器材の種類と扱い方を理解できる。 ・模型の扱い方が理解できる。
第4回4月17日 木内 香	3. コミュニケーションの概要 (教1)pp. 118-127	・グループワークを通じ傾聴を理解できる。 ・コミュニケーションの定義を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第5回 4月24日 小泉 寛恭	4. 医療と歯科医療 1) DOSからPOSへ 2) インフォームドコンセント 3) EBMとADL (教1) pp. 1-4	・医療の目的を説明できる。 ・インフォームドコンセントについて説明できる。 ・EBMの必要性を説明できる。
第6回 4月24日 小泉 寛恭	4. 医療と歯科医療 4) QOLとADL 5) チームアプローチとコミュニケーション 6) 歯科医療の特殊性 (教1) pp. 4-10	・QOLとADLの関連性を説明できる。 ・他職種との連携とチーム医療について説明できる。 ・歯科医療の特殊性について説明できる。
第7回 5月1日 小泉 寛恭	5. 歯科医療の目的 1) 歯の痛みと緩和 2) 疾患の制止と抑制他 6. 歯科医療機関 7. 歯科医療関係職種 (教1) pp. 10-14	・歯科医療の目的が説明できる。 ・歯科医療機関の役割が理解できる。 ・歯科医療関連職種を説明できる。
第8回 5月1日 小泉 寛恭	8. 歯科技工と歯科技工学 1) 歯科技工とは 2) 歯科技工学とは (教1) pp. 14-25	・歯科技工操作の流れを説明できる。 ・歯科技工学の体系および教育が理解できる。 ・歯科技工学の教育および国家試験実施に係る事項を理解できる。 ・医療関連職種を理解できる。
第9回 5月8日 小泉 寛恭	9. 歯科技工士の役割 1) 歯科技工士の業務 2) 歯科技工士の倫理 (教1) pp. 26-28	・歯科技工士の業務を説明できる。 ・歯科技工士に必要な倫理を述べることができる。
第10回 5月8日 小泉 寛恭	10. 歯科技工士の現状 1) 日本と世界各国における歯科技工士 (教1) pp. 28-32	・日本と世界の歯科技工士の現状を説明できる。
第11回 5月15日 木内 香	11. 顔の形態と機能 1) 顔の形態 (教1) pp. 33-34	・顔の正面外形の分類が説明できる。 ・バランスのとれた人の顔の法則が理解できる。
第12回 5月15日 木内 香	11. 顔の形態と機能 2) 顔の機能 (教1) pp. 33-34	・目、鼻、口の機能を説明できる。 ・顔の情緒表現の機能を説明できる。
第13回 5月22日 木内 香	11. 顔の形態と機能まとめ (教1) pp. 33-40 「平常試験」①, 解説	・平常試験を行い、第1～12回までの講義内容を確認し、理解度を深める。
第14回 5月22日 木内 香	12. 口腔の形態 1) 歯、歯列の形態と構造 (1) 歯の数、形態および歯列の形態 (教1) pp. 34-37	・歯と歯列の形態を概説できる。 ・歯と歯周組織の構造を説明できる ・口腔の機能を概説できる。
第15回 5月29日 木内 香	12. 口腔の形態 1) 歯、歯列の形態と構造 (2) 歯の構造 (教1) pp. 37-38	・顔の形態と機能を説明できる。 ・歯と歯列の形態を概説できる。 ・歯と歯周組織の構造を説明できる ・口腔の機能を概説できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第16回 5月29日 木内 香	12. 口腔の形態 1) 歯, 歯列の形態と構造 (3) 歯周組織の構造 (教1)p. 38	・顔の形態と機能を説明できる。 ・歯と歯列の形態を概説できる。 ・歯と歯周組織の構造を説明できる ・口腔の機能を概説できる。
第17回 6月5日 木内 香	13. 口腔の機能 1) 咀嚼運動 2) 嚥下運動 3) 発音運動 (教1)p. 39	・歯と歯周組織の構造を説明できる ・口腔の機能を概説できる。
第18回 6月5日 木内 香	13. 口腔の機能 4) 感覚 5) 表情と顔貌 (教1)pp. 39-40	・歯と歯周組織の構造を説明できる ・口腔の機能を概説できる。
第19回 6月12日 木内 香	14. 歯科技工作業環境 1) 人間工学と作業動作 2) 歯科技工所の配置 3) 歯科技工所の照明 (教1)pp. 73-75	・人間工学的に考えられた作業環境を説明できる。 ・歯科技工作業の作業室に必要な気積が理解できる。
第20回 6月12日 木内 香	14. 歯科技工の作業環境 4) 歯科技工所の換気 5) 歯科技工所の騒音 6) 環境汚染対策 (教1)pp. 75-77 「平常試験」②, 解説	・環境汚染の対策が説明できる。 ・歯科技工所の騒音を説明できる。 ・歯科技工に適した作業環境を説明できる。 ・平常試験を行い, 第14～19回までの講義内容を確認し, 理解度を深める。
第21回 6月19日 今井 秀行	15. 補綴装置による個人識別 1) 補綴装置への刻印による個人識別 (教1)pp. 69-70	・歯, 修復物および補綴装置による個人識別の方法が理解できる。
第22回 6月19日 今井 秀行	16. 補綴装置への刻印 2) 刻印の方法 (教1)pp. 70-71	・修復物と補綴装置に対する刻印（マーキング）を説明できる。
第23回 6月26日 田中 秀樹	17. 歯科技工における衛生管理 1) 歯科技工士の健康管理 (教1)pp. 89-90	・歯科技工士の健康管理が理解できる。
第24回 6月26日 田中 秀樹	17. 歯科技工における衛生管理 2) 歯科技工作業と感染予防 (教1)pp. 90-92	・歯科技工士の健康管理が理解できる。 ・歯科技工作業における感染防止を説明できる。
第25回 7月3日 川戸 貴行	18. 口腔健康管理 1) 加齢現象 (教1)pp. 93-94	・口腔が全身の健康に及ぼす影響を説明できる。 ・口腔領域における加齢現象が説明できる。
第26回 7月3日 川戸 貴行	18. 口腔健康管理 2) 咀嚼と健康 3) 歯および口腔の衛生管理 (教1)pp. 94-96	・咀嚼が健康に及ぼす影響を理解できる。 ・歯および口腔の衛生管理が理解できる。
第27回 7月10日 川戸 貴行	18. 口腔健康管理 4) 健康政策 (教1)pp. 96-100	・我が国の健康政策を説明できる。 ・保健衛生法規が理解できる。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 到 達 目 標
第 28 回 7 月 10 日 川戸 貴行	18. 口腔健康管理 5)在宅医療 (教 1)pp. 100-102	・在宅歯科医療の動向が理解できる。 ・在宅歯科医療における歯科技工士の役割を説明できる。
第 29 回 7 月 24 日 笹井 義宣	18. 口腔健康管理 6)災害時歯科医療救護 (教 1)pp. 103-104	・災害時の歯科医療救護が理解できる。
第 30 回 7 月 24 日 笹井 義宣	18. 口腔健康管理 7)災害における歯科技工士の役割 (教 1)pp. 104-106	・災害時に災害時における歯科技工士の役割を説明できる。